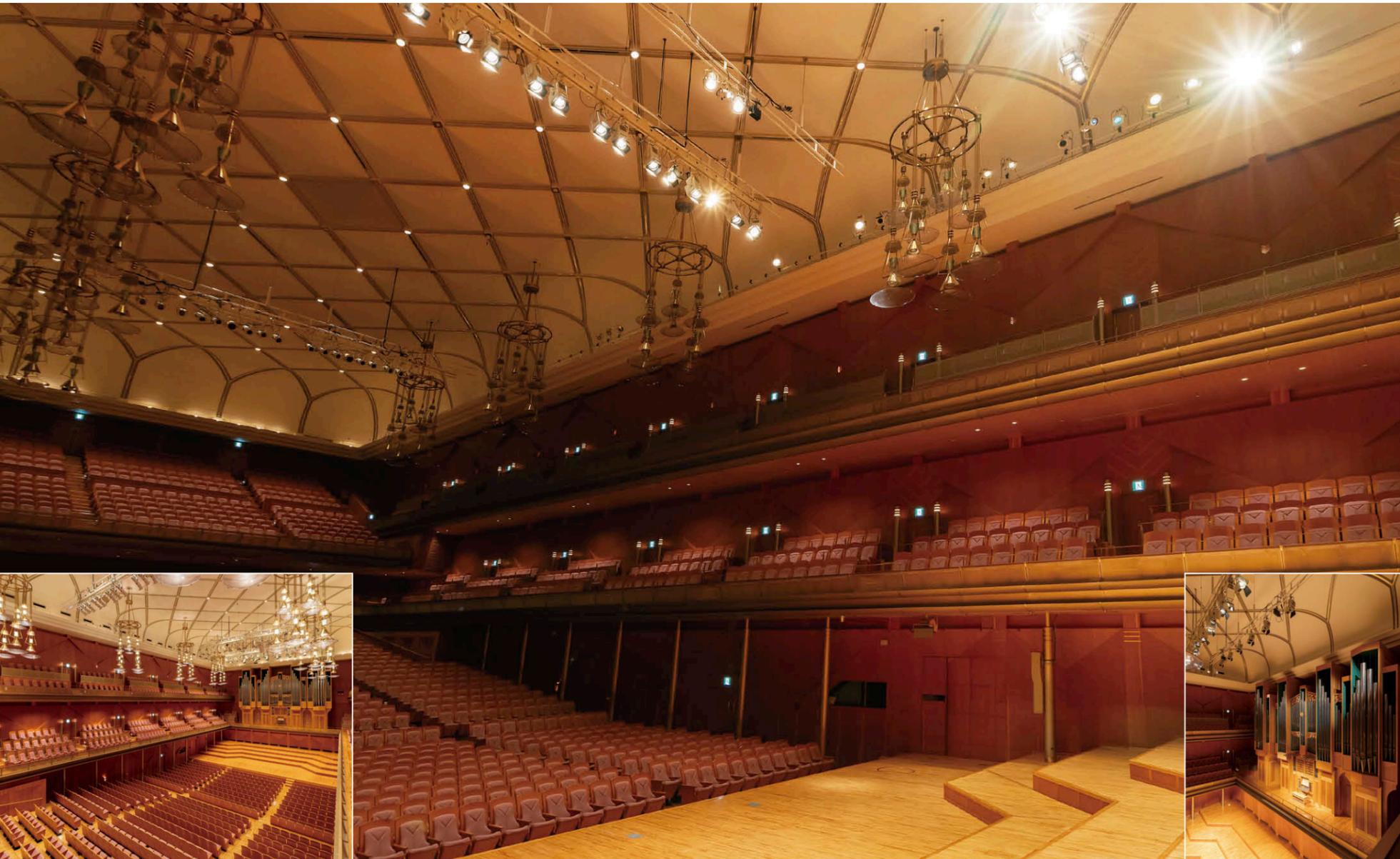


宮崎県の舞台芸術文化の中心であるメディキット県民文化センターが、ホール天井の耐震強化と舞台設備などの改修工事を完了して、2025年4月にリニューアルオープン。舞台照明の改修では、コンサートホールおよび演劇ホールのLED化を実施。調光操作卓も更新し、多彩な照明演出を効率的に行えるインフラを整えました。

宮崎県立芸術劇場は、県民に音楽や演劇、舞踊、伝統芸能など幅広く舞台芸術の鑑賞機会と創作芸術の発表の場を提供してきた文化発信拠点です。オーケストラ専用設計のコンサートホール、演劇ホール、イベントホールという大中小3つのホールからなり、今回は大中2つのホールの天井耐震強化と舞台設備改修が行われ、2025年春より再びその役割を果たしています。



【物件概要】
所在地：宮崎市船塚3丁目210番地
構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上4階地下1階塔屋1階建
最大客席数：コンサートホール/1,818席、演劇ホール/1,112席
施主：宮崎県
設計：(株)佐藤総合計画
施工：元請契約/東芝ライテック(株)
リニューアル完成：2024年12月



コンサートホールの照明バトン 2本の美術バトンを照明バトンに変更した上でさらに1本増設。更新されたLEDスポットライト⑤⑥は特注仕様様のアイボリー塗装色。



演劇ホールの客席照明 既設のハロゲンランプ器具を4タイプ計98台のLEDシアターシリーズダウンライト①②③④に更新。

コンサートホールの照明 オーケストラ専用として設計され、国産最大のパイプオルガンが設置されているホールの客席照明には、ハロゲン電球と同じように色温度が変化するLEDシアターシリーズダウンライト①④を採用。また、照明バトンにはLEDスポットライト⑤⑥を多数採用。

客席照明をLEDシアターシリーズダウンライトに更新。同時に舞台照明もLED化するとともに増設。

2019年に先行してイベントホールの照明リニューアルが行われた宮崎県立芸術劇場では、2023年8月から約1年半の休館期間を設け、コンサートホールと演劇ホールの特定天井改修工事を行い、合わせて舞台照明のリニューアルと機器老朽化に対応した舞台機構・舞台音響設備工事を実施。全ホールの改修が完了しました。

このたび改修された2つのホールでは、客席照明のLED化および調光操作卓をはじめとする制御系を更新。器具配置や台数などは変えず、赤味がかった光色で立ち上がり、ハロゲンダウンライトが創り出す劇場

照明の雰囲気そのまま再現するLEDシアターシリーズダウンライトを採用。改修前より照度が1.5倍以上アップし客席全体が明るくなりました。また、調光操作卓の更新により、いっそう直感的な操作が可能となりDMX/RDM 制御により調光室内でのDMXアドレスや動作設定もできるようになるなど操作性が向上しました。

さらにコンサートホールでは舞台照明器具も更新。一部を除きスポットライトをLED化するとともに、照明バトンの本数を5本に増やし(既設2本)、より明るく演奏しやすい舞台照明を実現しています。



LEDシアターシリーズダウンライト①



調光室 調光操作卓はコンサートホール(左)にLICSTAR-V TypeJを演劇ホールにはLICSTAR-V TypeSを導入し、多種多様な演目に対応可能としている。

主な搭載器具一覧	設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
コンサートホール 演劇ホール		① LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安φ200mm)	AL-LED-TDL-L	45	消費電力:91.5W
		② LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安φ200mm)	AL-LED-TDL-LS	49	消費電力:91.5W
		③ LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安φ150mm)	AL-LED-TDL-M	20	消費電力:91.5W
		④ LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安φ100mm)	AL-LED-TDL-S	61	消費電力:30W
		⑤ LEDスポットライト 8型平凸 ハロゲン1kW~1.5kW置き換え ロングアーム アイボリー	AL-LED-ASP8-LA	16	消費電力:187W
		⑥ LEDスポットライト 8型シアターフレネル ハロゲン1kW~1.5kW置き換え アイボリー	AL-LED-FSPT8-L	22	消費電力:187W
調光室		可搬形調光器 ポータブルディムスター	AL-TUIPT-10203-30	4	
		調光操作卓	LICSTAR-V TypeS LICSTAR-V TypeJ	1式 1式	